

ご意見募集フォームに寄せられた御意見について

検討委員会だよりに掲載した学校再編に関する専用のご意見フォームにお寄せいただいたご意見の内容について報告いたします。

検討委員会を立ち上げた7月のはじめから8月23日までの間に6名の方からご意見をいただきました。

このご意見フォームは、検討委員会で検討を行っている間開設し、寄せられたご意見は検討委員会で報告させていただきます。

<p><検討委員会のホームページ> を立ち上げました！QRコードからアクセスできます➡</p>		<p><専用のご意見フォーム> にご意見をお寄せください➡</p>	
--	---	--	---

【通学支援について】

- ・小学生は通うのが大変だと思うので、佐東と中は元々の小学校からスクールバスで送迎があった方が良くと思います。

【小中一貫への期待】

- ・人数が減っているので小中一貫が出来たらどんな感じなのか楽しみです！
- ・各学校の老朽化、中学の裏の山の崩落の危険性、児童の減少、地震等発生時の子供の迎への利便性など、各方面から考えても早急に実施してもらいたいです。
- ・少子化や校舎の老朽化も考えると良いタイミングだと思う。小中一緒なら中学校に進学する時、友達もある程度顔見知りで、スムーズに進学できそうだが子も親も人間関係がこじれた時はどうなるか心配。

【候補地について】

- ・私は東京女子医科大学の跡地に小中一貫校を作りたいを希望します。近くに北運動場もあり、こども園もあり、好立地だと思っています。

【特別支援学級について】

- ・小中学校再編案の事例には、特別支援学級が明記されている学校が少数でしたが、特別な支援や配慮が必要な児童生徒にとって、小中が連携した教育・支援をしてもらえる事は大きな強みになると思います。そのため、構想段階・設計段階での、特別支援学級設置(対象・クラス数)の明記を強く求めます。

【校舎の設備・間取りについて】

- ・教室間の壁を移動して空間変更できる、大階段が学習や練習のスペースとなるなどの事例が多くあったように感じます。これらは、本当に教育効果や児童生徒の安心安全に繋がる物なののでしょうか。「何となく良く見える風」のデザインではなく、多様な児童生徒の生活しやすさにつながる「ユニバーサルデザイン」を意識した、設計や間取りを希望します。

【施設の維持管理について】

- ・今回の学校再編の大テーマが「老朽化した施設を統合し、長く使える施設に」だと思われます。無駄な設備や長寿命化に適さない素材を使ったことで施設の寿命が短くなり、数十年後の学校再々編議論が早まる事になれば本末転倒です。設備更新や修繕費の少なく、長く地域で活用できる学校の建設を望みます。

【地域交流について】

- ・佐東地区は、福祉事業所の数が他地域に比べ圧倒的に少ない。レクリエーションや交流の場として貸し出すのではなく、その解消に向けた拠点としての機能が敷地内の地域交流スペースに有れば嬉しいです。
- ・交流スペースの一区画を、障害児向けの学童(放課後等デイサービス)への業務委託した事業所に開放するなど、地区に住む障害者全体を対象にする事は難しくても、地区に住む障害児・家族が「地域と繋がる場」としての機能を、小中一貫校が持つことを望みます。